

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (4)道路の保全・整備

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

基本施策が目指す姿

市民が、保全・整備された道路を利用して、安全で快適に生活を送っています。

関連する分野別計画

成果指標

		単位	現状値		実績値					目標値
					H29	H30	R1	R2	R3	
1	都市計画道路の整備率	%	58.1	H27	58.1	61.9	65.1			70.0
2	市道の改良延長	km	-	H27	0.17	0.17	1.07			2.5
3	橋梁の耐震化率	%	45.5	H27	46.4	48.2	51.8			50.0
4	道路環境美化ボランティア活動団体数	団体	9	H27	10	11	13			14
5										

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	国道などの幹線道路が整備されている	重要度 1.21	1.18		幹線道路の整備、生活道路の整備ともに重要度は高いが、評価得点は前回より下降している。また、満足度は、幹線道路は前回と同じであるが、生活道路は下降している。これまでの取り組みの成果は表れているものの、さらなる施策展開により、満足度を向上させていく必要がある。
		満足度 0.31	0.31		
2	生活に身近な道路が整備されている	重要度 1.35	1.32		
		満足度 0.28	0.26		
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A	幹線道路の整備及び生活道路の充実については、順調に推進できており個別判定をAとしている。安全に配慮した道路整備及び道路の適切な維持管理については、橋梁耐震対策、橋梁修繕、舗装老朽化対策が、国の交付金の減少により、十分な進捗が図られなかったことから、個別判定をBとしている。基本施策に設定した4指標とも実績値は上昇しており、各施策の推進が図られていると考えられることから、総合判定をAとした。
順調に進んでいる	

反省点・課題

橋梁は河川や道路を高架しており、関係する管理者の管理上の都合から施工時期や工法の制限を受け、施工前の協議に時間を要するため、中長期的な施策進捗を計画する必要があると同時に、膨大な事業費が必要となる。また、主要幹線道路の現状は、道路供用開始時に比べ交通量が増加しており、舗装の傷みが激しく膨大な補修費が必要である。このことから、道路整備や維持管理の財源確保は国の交付金に委ねている現状である。

今後の展開方針

橋梁長寿命化計画や舗装維持管理計画を精査して、亀山市国土強靱化地域計画に位置付けていることから、亀山市国土強靱化地域計画を道路の保全・整備の施策指針として、総合的かつ計画的に推進していることを内外に発信することで、財源確保に努めていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向 幹線道路の整備						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
A	活動	<p>県道亀山関線に併せ、亀山市街と関地区を結ぶ幹線道路となる市道野村布気線の整備に取り組んだ。既存道路との交差点を含む工事を令和元年度に終え、市街と亀山関テクノヒルズ工業団地とを結ぶ、主要な産業道路として全線供用開始をすることができた。</p>	評価	<p>幹線道路改良区間を完成させ、供用開始することで、生活の利便性や防災機能を向上させるとともに、産業活動や地域間交流の促進が図れている。</p>		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17016	都市計画道路整備事業 (野村布気線)	主	180,171 / 178,730	A	A
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 生活道路の充実						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
A	活動	<p>集落内では狭隘な道路が多く残っている状況である。災害に強い住環境の整備を行う上でも生活道路は、重要な役割を果たすことから、山下地区、安坂山地区、南鹿島地区において道路の拡幅及び歩道設置の事業に取り組んだ。</p>	評価	<p>幹線との接続道路や防災上及び交通安全上の機能の向上が図られ、生活道路の充実は推進できている。</p>		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17017	狭隘道路後退用地整備事業	主	7,710 / 7,228	B	B
	8075	市単道路整備事業	標	3,290 / 2,774	A	A
	8206	山下8号線整備事業	標	12,877 / 12,722	A	A
	8224	南鹿島線整備事業	標	3,000 / 3,000	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 安全に配慮した道路整備						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
B	活動	<p>橋梁耐震診断及び橋梁耐震対策工事を実施して、災害時における市民及び道路利用者の安全確保に取り組んだ。</p>	評価	<p>市民が安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくりとして、安全に配慮した道路整備は、まずまず推進できている。</p>		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17024	橋梁耐震化補強事業	主	53,807 / 53,723	B	B
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 道路の適切な維持管理						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
B	活動	<p>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高速道路を跨ぐ橋梁を中心に修繕工事を実施して、橋梁長寿命化に計画的に取り組んだ。また、舗装維持管理計画に基づき、主な幹線道路を中心に舗装修繕工事を実施した。</p>	評価	<p>優先順位の高い橋梁から順次修繕を実施したことと、道路舗装老朽対策として予防保全的な修繕に努めたことで、道路の適切な維持管理は、まずまず推進できている。</p>		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17018	橋梁長寿命化修繕事業	主	83,700 / 83,665	B	B
	17019	舗装老朽化対策事業	主	55,400 / 55,234	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果